

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4676100193
法人名	医療法人 松城会
事業所名	グループホーム「ゆうゆう」
訪問調査日	平成20年11月26日
評価確定日	平成21年1月29日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月10日

【評価実施概要】

事業所番号	4676100193
法人名	医療法人 松城会
事業所名	グループホーム「ゆうゆう」
所在地	鹿児島県霧島市隼人町姫城1丁目276番地 (電話) 0995-44-6180

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま		
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号		
訪問調査日	平成20年11月26日	評価確定日	平成21年1月29日

【情報提供票より】(20年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年3月30日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 17.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000~36,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2			4名
要介護3	6名	要介護4			3名
要介護5	2名	要支援2			名
年齢	平均 87歳	最低	74歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 松城会 隼人温泉病院 米重歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認さ 5E+09】

周囲は温泉地で、スーパー・公園・学校などがあり、利便性や自然に恵まれた地に開設されているホームである。系列に温泉病院や老健施設、訪問看護、居宅介護支援事業所があり、地域医療と地域福祉を実践している法人を母体としているため、利用者・家族などに安心感がある。福祉や介護に精通した管理者を中心に、職員は目標を高く持ち、自己研鑽に励みながら、「利用者が住み慣れた地域で家庭的な環境と雰囲気の中で自分らしい暮らしができるように。」と利用者に接している。仕事に対する誇りと、情熱につながっている。医療法人の医療スタッフとの連携も取れ、改善効果が表れて利用者に笑顔と安らぎをもたらしている。地域資源(消防署・警察)の活用や地域行事、小・中学生の体験学習の受入れなど、地域との交流や協力関係を構築しながら地域に根ざしたグループホーム運営を目指している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域密着型サービスとしての理念、職員を育てる取り組み、プライバシーの確保など前回の課題については全員で検討し取り組みがなされ改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全員で行い管理者、職員間の共通認識が深まるなど評価が活かされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は定期的開催されている。会議では意見や提言が徐々に出されており、出された提言などは職員と共有しながらサービスの質の向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	相談窓口を明記し、意見箱を設けている。意見を出しやすい雰囲気づくりを心がけている。長時間の車椅子使用を回避するためタタミの間で過ごしてもらうよう取り組み、意見を運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に加入しており、散歩がてら回覧板やホーム便りを配布したり、自然ごみ集配をしている。地域行事(運動会・十五夜)に参加し地域とのつながりを大切にしている。また小・中学校の体験学習や見学など受入れている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に作られた理念に加えて、職員の意見を集約し、地域の人たちとの深い絆を結べるように支える基本理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員会議やモニタリング時に理念を生きた方針として語っている。職員は理念を原則として共有しながら日々のケアに努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、散歩がてら回覧板・ホーム便りを配布したり自然ごみの集配をしている。地域行事(運動会・十五夜)に参加し、地域とのつながりを大切にしている。また小・中学生の体験学習や見学など受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価に取り組み、評価結果を議題に話し合い具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は定期的に行われている。会議では意見や提言が徐々に出されており、出された提言などは職員と共有しながらサービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険担当者と連携を取り、介護保険の更新、インフルエンザ予防接種の助成手続きなど相談し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りや来訪時に心身の状況や暮らしぶり、行事予定・防火訓練など報告している。また遠方の家族などにはホーム便りと手紙・写真を送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口を明記し、意見箱を設けている。意見を出しやすい雰囲気づくりを心がけている。長時間の車椅子使用を回避するため、タタミの間で過ごしてもらえるように取り組み、意見を運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、職員はなじみの関係を重要視したケアを心がけており法人内異動は控えている。各ユニット間のなじみの関係作りを目的とした異動は行っているが利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月間行事計画を作成し議題を設けた研修や勉強会に参加している。復命研修報告も行い職員の技術や知識の向上に努めている。資格取得の意欲のある職員に支援している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており研修会や講演会に参加している。また他事業所と見学交流や職員研修交流など行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族などのやむをえない事情ですぐ利用になっている事例が多い。利用者の視点に立った柔軟な支援であるとはいいたい。		本人の安心と納得を大切にしたい利用開始のために本人・家族と相談しながら個別の調整を行うことが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	はり絵や俳句・手紙・リボン工作など、それぞれの特技・持ち味に喜怒哀楽を共にしながらホームでの生活を送っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は本人の言動・表情・サインを細かく観察しながら職員間で情報交換に努め思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族などの意向、主治医の意見・職員の気づきや意見を反映した本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	短期(6ヶ月)の見直しをしている。個別記録・気づきノートにケアの実践を記録して情報を共有し、利用者の状態変化や入退院の際にはその都度モニタリングを行い見直しに活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	自宅訪問、病院受診、車椅子使用の方の移動など利用者や家族の要望に柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医での受診や歯科や眼科などの専門医への受診支援も行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族などの意識調査を行い意向の把握には努めてはいるがはっきりとした指針は定められていない。		ホームとして重度化や終末期に向けた指針を作成し、職員間でも指針を確認して、家族などの同意書を得ることが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように言葉かけや対応に留意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活の作業やレクリエーションなどその人の生活リズムと身体状況を大切にしながら、本人の希望や状況に応じて柔軟に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや下膳などできることを一緒にしてもらいながら職員も同席して食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められていない。日中の入浴支援は回数や時間に制限のない温泉入浴である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の手伝い・書道・俳句・はり絵・くずかご作りなどそれぞれの要望や特技を生かしながら職員とともに楽しみごと、気晴らしの出来る生活をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的には近隣の散歩に車椅子の方も数名出かけている。希望により外食や足浴、理美容院、バスによる外出を支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害については理解している。日中は鍵をかけず、自由な生活が出来るように見守りで支援している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所主体の防火訓練は実施しているが夜間想定の実施や地域の協力体制の働きかけは検討段階である。		夜間想定 of 防火・避難訓練の実施、及び地域住民の協力体制づくりの充実が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の水分量・食事量を記録し、確保できるようにしている。身体状況に合わせて食事形態に配慮している。また栄養バランスについては栄養士のアドバイスをもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居住空間は明るく、清潔で換気や温度・音に配慮が行き届いている。季節行事の装飾や生花など工夫がなされて、家庭的な共用空間づくりである。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ・寝具・卒業証書・クローゼットに小物タンスなどなじみの品が持ち込まれている。		